

平成 28 年度 妙高高原南小学校グランドデザイン

児童の実態



- 【知】主体的に学ぶ姿勢が身に付いてきている。宿題だけでなく自主勉強にも取り組もうとする学習態度を一層伸ばしたい。
- 【徳】素直で、進んで自分の役割を果たそうとする子どもが多い。自他の成長やがんばりに気付き、お互いのことを認め合う態度を育てたい。
- 【体】体力、運動能力の高い子どもが育っている。健康習慣を十分身に付けさせたい。



教職員の願い

- 「学校が子どもの夢と希望を実現する場となるように」
- ◇力を引き出し、伸ばしてやりたい。
 - ◇自信をもたせ、やる気を出させたい。
 - ◇思いやりの心、豊かな人間関係を育て、いじめのない学校にしたい。
 - ◇基礎学力をしっかり身に付けさせ、考える力を伸ばしたい。
 - ◇保護者や地域と連携したスキー活動に力を入れていきたい。
 - ◇地域の教育力を積極的に活用して教育活動を進めたい。

教育目標

- ❖ 進んで学ぶ子
- ❖ 思いやりのある子
- ❖ 最後までやりぬく子

保護者・地域の願い

- 基礎となる学力を確実に身に付けてほしい。
- 思いやりの心を持ち、心豊かな子どもになってほしい。
- 心身共に健康に育ってほしい。
- 自分の住んでいる地域をもっと知ってほしい。
- 安全、安心な学校であってほしい。
- スキー活動に関心を持ち、進んでスキーに親しんでほしい。

合言葉

文武両道の高原南の子



<年度の重点目標>

学び合い、考えを深める子

■取組■

I 授業改善

- 思考力を高めることに重点をおいた授業改善。
- 学習意欲を高めるための課題提示や学習活動の工夫。
- 話し合い活動やノートの活用などを用いた言語活動の充実。

II 個別指導の充実

- 確かな学力の定着に向け、「学びの広場」を昼休み、放課後に開設する。
- 県の Web 配信問題の誤答分析と確実な見直し、補充。

III 家庭との連携

- 学校の学習が、常に家庭の話題に反映する学級だよりや、家庭学習の課題の工夫。
- 学習への習慣付けを図り、主体性を伸ばす「わたしの家庭学習ノート」の活用。
- 家庭学習強調週間の活用

認め合い、自分も友達も大切に子

■取組■

I 授業改善

- 日常生活における人権感覚や道徳的実践力を培う授業の充実。
- 人権教育、同和教育を推進する職員研修の充実。

II 考え、行動し、振り返る場の設定

- 「いじめ見逃しゼロ」に向けて、児童が主体的に行動する場の設定。(生活目標、縦割り班活動)
- お互いのよさや成長、自分のことを振り返る方法の工夫。

III 全校体制での生活指導

- 定期的な児童の情報交換と、指導方針の共有化。(週1回の情報交換、子どもを語る会、学校生活アンケート)
- 外部機関や専門家との連携と、特別支援教育委員会やいじめ・不登校対策委員会の充実と機能化。

励まし合い、健康・体力づくりに取り組む子

■取組■

I 授業改善

- 体力課題の改善に向けた指導計画の工夫。(柔軟性を中心に)
- 運動の楽しさを味わわせるための指導内容の明確化。

II 体力向上の取組・課外体育

- 南っ子タイムを活用した、体力向上の取組の実施。(親子体力テスト・合同マラソン大会などの学校行事や委員会イベントとの連動)
- 全員参加の課外体育で体力と技術の向上。(ミニバス・陸上・スキー)

III 健康習慣づくり

- 家庭と連携した「すこやかウィーク」の年2回実施。
- 親子で健康な習慣づくりを学ぶ機会の設定。
- 妙高高原地域子ども健康づくり協議会との連携。